

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 2022年 2月 3日

配布数126/提出123/未提出3

事業所名: 伊丹市立こども発達支援センター

サービス種類: 児童発達支援

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	<ul style="list-style-type: none"> 立地条件上、十分な広さの確保は難しいが、クラスで活動時間が重ならないように事前に打ち合わせを行っている。 保育室や遊戯室の環境設定、廊下などのスペースを活用し工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> はい(115)/どちらとも(7)/いいえ(1)/わからない(0) 十分に走れている。 体操やボール遊びをする時に狭いと感じる。 外(園庭)が少し狭い。 遊戯室の活用、クラスを半分に分けて別々の部屋で過ごす工夫をされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用人数や活動内容、利用されるお子さんの様子に応じて、部屋の使い方などを工夫していく。 子どもの行動を予測して、場所の確保や環境を見直し、安全面に配慮していきたい。 活動内容に合わせて、近隣の広場や公園なども活用していく。
	2 職員の適切な配置	<ul style="list-style-type: none"> 基準内の適正な職員配置を実施している。 センター全体で利用児の人数を把握し、保育士がクラス間で流動的に動けるような体制をとっている。 	<ul style="list-style-type: none"> はい(110)/どちらとも(11)/いいえ(0)/わからない(2) 常にどなたか職員が見てくれる印象。 保育の内容により職員を増やしてくれるので安心。 職員が休みや不在の時間がある日は、知らせてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 担当職員が不在であっても、他の職員に相談しやすい体制を心掛ける。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人一人の特性に合わせた環境構成や対応を心掛けている。 写真、絵カードなど活用して分かりやすい環境設定を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> はい(113)/どちらとも(2)/いいえ(1)/わからない(7) 1日のスケジュールをホワイトボードに書くことで毎朝チェックできている。 写真が貼ってあり子どもが片付けしやすい環境だと思う。 絵カード、文字カードをさらに使ってもらえたらと思う。(マカトン、ジェスチャーも使ってほしい) 1日の流れの視覚支援カードの場所と、サイズ、子どもへの伝え方がわかりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭と協力し、一人一人のお子さんに合わせた提示の仕方やわかりやすい伝え方をより一層工夫していきたい。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	<ul style="list-style-type: none"> 保育中の共有物の消毒や手指消毒、毎日の清掃、使用後の玩具消毒、定期的な園庭整備、年間の定期清掃を行っている。 玄関や利用者が複数になる部屋の出入口などに消毒液を設置している。 感染症予防啓発のために、ポスターなど掲示している。 毎月定期的に安全点検を実施し、環境整備を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> はい(119)/どちらとも(4)/いいえ(0)/わからない(0) 保育終了後にクラスへ行くと、職員が玩具を一つ一つ拭いている。 大変清潔で素晴らしいです。 埃が気になる場所がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 衛生面や環境整備に一層配慮し、心地よく過ごせる空間や環境づくりに努めたい。 排泄後は、保育室へ入室時に手指消毒を行うようにする。 使用していない器具は片付けるなど、安全な空間を心掛ける。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	<ul style="list-style-type: none"> 年度毎に事業計画及び事業報告を作成し、さまざまな業務に関して共通理解を行い、職員会議、保育運営会議などで、日々の業務や行事などの計画・実行・振り返りを行い、職員間で共有している。 緊急時の対応方法などは、リーダー会議の中で検討、報告を行い共有している。 		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、実施していく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	<ul style="list-style-type: none"> 実施していない。 		<ul style="list-style-type: none"> 他機関のモデルなどを参考にしながら、実施の有無や方法について検討していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	<ul style="list-style-type: none"> センター内での職員研修の実施、外部研修への参加を行っている。 その他の外部研修案内を職員全体に周知し、自主的に参加できるよう情報提供を行っている。 参加した研修の資料を回覧するなどして、全体に周知できるよう努めている。 		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、実施していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の思いを聴き取り、子どもの姿を捉えることで、計画を作成している。聴き取り時に使用する書類(プロフィール)に関しては、毎年書式の見直しを行っている。 ・他職種の意見も参考にし職員間で共通理解を図るために、個別支援計画会議を実施し計画を作成している。 ・カルミアは、利用日の時間中に保護者と話す時間を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> はい(115)/どちらとも(4)/いいえ(0)/わからない(4) ・しっかり聴き取りしてもらっている。 ・聞き取りも丁寧で、今困っていることを課題に取り入れてくれる。 ・半期のモニタリングが5分程の話しで終わってしまった。事前に相談日を伝えてもらい、考えてから見直しの話し合いができればよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんに応じた具体的な手立てを分かりやすく丁寧に伝えて行くようにする。 ・モニタリングの時期を事前に伝えるようにし、余裕を持って相談時間がとれるように工夫していく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特性や年齢に合わせて課題や目標を設定し、集団の規模や保育形態を検討して保育を行っている。 ・つつじ、きぼうは、お子さんの年齢に応じて、延長保育やグループ保育を行っている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、実施していく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもにとって生活やあそびのなかで取り組みやすい項目を設定し、具体的な手立てや支援方法を記入するよう努めている。 ・目標や支援内容については丁寧に説明し、保護者と共に取り組めるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> はい(118)/どちらとも(1)/いいえ(0)/わからない(4) ・子どものことをよく理解してくれ、それに合った支援を考えてくれている。 ・半期のモニタリングが5分程の話しで終わってしまった。事前に相談日を伝えてもらい、考えてから見直しの話し合いができればよかった。 ・見守りが多く、働きかけやきかけづくりは少ないと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画を立てるにあたっては、お子さんの発達段階を保護者と確認しながら内容を検討できるようにしていく。 ・お子さんに応じた具体的な手立てを、分かりやすく丁寧に伝え、家庭と協力しながら取り組めるようにする。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の生活やあそびの中で、一人一人が楽しく取り組めるように、特性に応じた環境設定や関わり方などを工夫している。 ・他職種とも連携し、支援や介助の方法など検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> はい(91)/どちらとも(8)/いいえ(3)/わからない(21) ・心配事が解決されている。 ・見守りが多く、働きかけやきかけづくりは少ないと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画内容を保護者と確認し、子どもの姿に応じた支援を行っていることを丁寧に伝えて行く。 ・実際の保育や生活場面の中で、支援の内容について具体的に説明する機会をつくっていく。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	<ul style="list-style-type: none"> ・活動予定を事前に職員会議などで決め、内容や役割分担などの打ち合わせを心掛けている。 ・他職種との会議を行い、参考にして活動内容を検討している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、実施していく。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	<ul style="list-style-type: none"> ・きょうだい夏休みの期間でも、保護者同伴の療育が提供できるよう、きょうだい保育を実施している。 ・幼稚園と並行利用している利用児の長期休暇中の利用を柔軟に対応している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、実施していく。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス毎に話し合いを行い、月案や週案を立てて活動内容の工夫をしている。 ・研修などに参加し、活動内容を考える時の参考にしている。 ・保育士の交流会を行い、遊びの内容の情報交換などしている。 	<ul style="list-style-type: none"> はい(106)/どちらとも(8)/いいえ(0)/わからない(8)/無回答(1) ・いろいろなあそびを考えて下さっている。 ・家で出来ない体験をさせてもらっている。 ・保育内容も多岐にわたり、いろんな方法を考えてくれるので、子どもも楽しんでいる。 ・手遊びは覚えた頃が変わってしまうので、2か月くらい同じでもよいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識を高め、職員間で意見を出し合いながら活動内容の工夫に努める。 ・新しくなる歌や手遊びを、おたよりに掲載するなどして事前に伝えるようにする。 ・カルミアは、同じ歌を2か月間歌っていることをわかりやすく伝えていく。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の朝礼で、当日利用予定の子どもの情報共有を行い、保育内容や人員配置の確認、保育準備、食事介助の確認などを行っている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、実施していく。
9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	<ul style="list-style-type: none"> ・療育終了後や翌朝礼時に、その日や前日の子どもの様子などを記録、報告し合い、次の支援に生かせるようにしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、実施していく。 	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	<ul style="list-style-type: none"> ・日誌、保育記録の記入を行っている。 ・定例会議で子どもの情報共有や支援方法の検討などを行っている。 ・他職種とも連携し、支援や介助の方法など検討し改善している。 ・行事後は反省を記録に残し、次回に生かすようにしている。 		・引き続き、実施していく。	
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・半年に1回、計画の見直しを行っている。 ・保護者との面談で子どもの様子や変化を確認したり、保護者の思いを聴き取り、職員間で個別支援会議を実施し、計画の見直しを行っている。 		・引き続き、実施していく。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	<ul style="list-style-type: none"> ・通所部門の管理責任者やグループリーダー、担当などが、必要に応じて相談部門との会議や相談員からの聞き取りを行っている。 		・必要に応じて、実施していく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア実施要項を作成し、主治医の指示書をもとに保護者より依頼を受け、センター診療所医師の指示のもと医療行為を行っている。 ・医療的ケア児等コーディネーターやセンター診療所スタッフと連携し、療育を行っている。 ・センター診療所スタッフと連携して子どもへの支援を行うために、「介護職員等によるたんの吸引等の実施に係る研修」を受講し、体制を整えられるよう努めている。 ・就学前児は、就学先の学校との引継ぎを実施している。 		・引き続き、各関係機関との連携を密にし、支援を実施していく。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・主治医の指示書をもとに保護者より依頼を受け、医療行為を行っている。 ・医療的ケア児等コーディネーターやセンター診療所を通して、主治医などと連携している。 ・近隣の医療機関に緊急時の受け入れ協力を依頼し、対応できるようにしている。 		・引き続き、利用者のニーズに合わせ、受け入れ体制の整備や医療機関との連携に努める。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	<ul style="list-style-type: none"> ・移行予定先からの子どもの様子の事前見学の受け入れ、引継書を用いた引継ぎ、サポートファイルの作成などを行っている。 ・保護者や移行後の施設と連携をとり、保育所等訪問支援事業を実施している。 		・引き続き、利用者のニーズに合わせ、より丁寧な情報共有や連携に努める。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供			
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・他機関の実施する研修案内を朝礼で職員全体に周知し、自主的に参加できるよう情報提供を行い、参加を促している。 		・引き続き、実施していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・つつじは、年長の希望児のみ後期から月1回、居住地域の幼稚園での地域体験を計画していたが、新型コロナウイルス感染症流行のため実施できない時期もあった。 ・新型コロナウイルス感染症流行の為、きぼうの地域体験やセンター内での交流は実施できなかった。 ・カルミアは、週1回の保育、利用が低年齢児のため、園との地域交流は実施していないが、地域のあそび場やプレ保育などの情報提供を行い、利用を促して地域との交流ができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> はい(26)/どちらとも(18)/いいえ(27)/わからない(52) ・絶対に必要とも思わない。 ・コロナ禍のため仕方がない。コロナの今は特に難しい。 ・園の子どもたちとの交流があれば嬉しい。 ・他園との交流は全くしていないのでわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多人数での交流が難しい状況にはあるが、引き続き、情勢を見ながら実施していく。 ・利用形態に応じて対象年齢や頻度も考慮しながら、交流の機会を持つたり、子どもの活動の場を広げられるよう計画していく。 ・利用者のニーズに合わせて、地域のあそび場などの情報提供を行い、保護者と相談をしながら参加を促していく。 	
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・見学などを人数を調整しながら随時受入れている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて対応していく。
保護者への説	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容については、個々で懇談を実施し説明している。 ・利用者負担については、利用開始時(契約時)に手引きなど用いて説明をしている。 ・説明後に変更などがあつた場合や、全体で集まることが難しい場合は、手紙や配信メール、個別での情報提供を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> はい(117)/どちらとも(6)/いいえ(0)/わからない(0) ・わかりやすく説明してくださっている。 ・毎回丁寧に質問されるので安心。 ・負担額についてはよく分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用料については、受給者証の記載内容と照らし合わせながら、保護者と一緒に確認し具体的に説明していく。また、明細書を郵送した旨を保護者に伝えるようにする。 ・支援内容や取り組みなどで変更があつた場合は、なるべく早く保護者に説明できるように努める。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	<ul style="list-style-type: none"> ・懇談の時間を設け、計画書を提示しながら、保護者の確認し、目標や支援内容についての説明を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> はい(120)/どちらとも(0)/いいえ(0)/わからない(3) ・説明はいつもしっかりしてくれ、質問にも丁寧に答えてくれる。 ・計画書を見ながら説明される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、丁寧な説明を心掛ける。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・親子通所や懇談の中で、生活の中での様子や困り感を聴き取り、関わり方を具体的に伝えるなどして、保護者との情報共有や育児支援を行っている。 ・家族支援として、内容を吟味し保護者教室や父親会を実施し、育児に必要な情報の提供、先輩保護者の話を聞く機会など設け、保護者支援を行っている。 ・頻度は少なかったが、父親参加日を設け、日々の取り組みを家族で共有してもらおう機会を設けている。 ・他職種とも連携し、保護者からの相談に対応している。 ・狭義でのペアレントトレーニングは実施していないが、お子さんに合う方法を保護者とともに考え、取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> はい(78)/どちらとも(13)/いいえ(6)/わからない(26) ・子どもに合った対処の方法を教えてもらい日常生活にすぐ取り入れるようにしている。 ・いろいろと相談にのってもらっている。 ・ペアレントトレーニングという言葉を最近知ったので充実させてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、保護者とのコミュニケーションを図り、他職種とも連携して家族支援に取り組んでいく。また、保護者と一緒に、お子さんに合った有効な手立てなどを考え、改善できる方法を見つけていきたい。 ・実施方法は検討しながらも、利用者のニーズに合わせて、保護者研修会の内容を検討し企画していくようにする。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・親子通所の療育を実施し、保護者との情報共有や育児支援を行っている。 ・単独通所児は、連絡ノートでのやりとりや、送迎時や電話などでの連絡を行い情報共有を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> はい(113)/どちらとも(6)/いいえ(2)/わからない(2) ・ほぼ毎回職員と話をしたり相談している。 ・話を聞いてくれているので安心している。 ・常に最新の情報で見てくれていて安心感がある。 ・トイレに立った時などもその間の様子を報告してくれる。 ・職員間の情報共有がとても良くてきているので、どなたでも安心して聞くことができる。 ・毎日の連絡帳に様子が細かく書かれていて、どう過ごしたか知れて嬉しい。 ・もう少し職員から見た課題などを提案してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、通所児や保護者が安心して利用できるように、職員間で連携をとり、保護者との共通理解が図れるように丁寧な対応を心掛ける。 ・保育の中で見られるお子さんの様子を的確に伝え、成長や課題になることを保護者と共有し、関わり方など提案できるようにする。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
明責任・連携支援	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・親子通所や懇談の機会に、保護者の悩みに寄り添うよう心掛けている。 ・他職種とも情報共有を行い、連携して保護者からの相談に対応できるようにしている。 ・必要に応じて児童精神科医相談を案内し、より専門的なアドバイスを受ける機会を提供している。 ・カルミアは、利用日の設定保育の前の時間に保護者と話す時間を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> はい(106)/どちらとも(12)/いいえ(1)/わからない(4) ・あそびや関わり方など参考にさせてもらっている。 ・子どもの様子を聞いてくれ、適切なアドバイスをもらっている。 ・相談には親身に助言などしてもらっている。 ・懇談以外でも、親子通所のちょっとした時間に話を聞いてくれ、アドバイスをもらっている。 ・「面談」という機会はないと思う。 ・育児の助言をもう少しいろいろ教えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、職員間で連携をとり、保護者が安心して相談できる体制をつくるよう努める。 ・家庭の様子を聴き取り、保護者の様子に応じて、具体的な手立てや関わり方を伝えて行くよう心掛ける。 ・保護者と話す時間や場面設定を工夫していく。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日通所のクラスは、保護者会や父親会の活動を通して、保護者間の連携が取りやすい機会を設けている。 ・保護者会や保護者教室開催時には親子分離保育を行い、保護者同士の交流や意見交換の機会を設けている。 ・カルミアは、保護者教室は行っているが保護者同士の連携までは至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> はい(68)/どちらとも(12)/いいえ(10)/わからない(31)/無回答(2) ・おもちゃ作りは楽しかった。参加者が少人数だったので話しやすかった。 ・回数は少なくなっているが、全員で集まる、他クラスの保護者と合う機会がある。 ・父母の会や保護者会がわからない。 ・父親参観などはあったが、特に保護者同士の連携支援はなかったと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・頻度や内容などは検討しながら、引き続き、実施していく ・父親会に関しては、保護者の意見を踏まえて、参加しやすい日時の検討を行っていく。 ・通所の形態に合わせ、保護者のニーズも取り入れながら、開催日時や実施内容を検討し、保護者同士が交流できる場を設けていく。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情対応について、契約時に説明している。 ・苦情や要望が上がった際には、迅速に対応するよう努め、職員にも周知し対応できるように心掛けている。 	<ul style="list-style-type: none"> はい(54)/どちらとも(11)/いいえ(1)/わからない(54)/無回答(3) ・苦情がない、言ったことがないのでわからない。 ・誰かが苦情を言っているのを見たこと、聞いたことがない。 ・その様な場面になったことがないのでわからない。 ・苦情があるのかどうかを知らされていない。 ・苦情があった場合は教えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と連携できる体制やより良い関係づくりに努める。 ・質問や要望をいただいた際には、速やかに対応し、利用者に伝えるようにする。また、質問の内容によって、回答に時間を要する場合は、その旨を事前に伝える。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者全体への連絡事項や、実施内容の変更などがあった場合は、掲示や手紙の配布、配信メール、個別での情報提供などでの周知に努めている。 ・子ども一人一人の特性に合わせた関わりに取り組み、保護者に親子通所や懇談を通して伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> はい(114)/どちらとも(3)/いいえ(1)/わからない(3)/無回答(2) ・連絡帳だけでなく、バス乗降者のちょっとしたタイミングでも話を伝えられて助かっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、支援内容や利用方法などに変更がある場合は、なるべく早くの保護者説明を心掛ける。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	<ul style="list-style-type: none"> ・年間の行事計画、毎月のくらすだよりや利用計画、行事の詳細についての手紙などを配布し情報提供を行っている。 ・一斉メール配信を利用し、緊急時に対応できるようにしている。 ・ホームページの活用ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> はい(83)/どちらとも(10)/いいえ(1)/わからない(26)/無回答(3) ・毎月行事予定のプリントが配布される。 ・活動予定が掲示されている。 ・ミマモルメで案内が来るようになって、後から見返す時も探しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、わかりやすい情報提供を心掛ける。 ・ホームページの活用方法も検討していく。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・鍵付き書庫に管理するなど、いただいた個人情報の取扱いには十分気を付けている。 ・書類作成、情報公開に際しても細心の注意を払うよう心掛けている。 ・毎年、市職員向け情報セキュリティ研修を全職員受けている。 	<ul style="list-style-type: none"> はい(109)/どちらとも(2)/いいえ(0)/わからない(9)/無回答(3) ・問題ありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き実施し、個人情報を取り扱っているという認識を深め、職員間で徹底していく。
	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対応マニュアルを作成し、いつでも確認できるよう提示やホームページへの掲載を行っている。また台風など警報発令時の対応については、手紙を契約時に配布し説明している。 ・感染症対応は、市の取り組みに準じて行い、朝礼や資料の回覧、ポスターの掲示などで周知している。 	<ul style="list-style-type: none"> はい(99)/どちらとも(10)/いいえ(0)/わからない(12)/無回答(2) ・掲示板にはってある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルについては、提示するだけでなく貸出するなどして、周知できるよう努める。 ・様々な災害を想定した訓練の計画を心掛け、緊急時の対応について確認を行うようにしていく。 ・感染症への取り組みは、引き続き周知に努め、日々声掛けや啓発を行い、理解・協力していただけるよう努力する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	2 非常災害の発生に備えた、定期的な避難、救出その他必要な訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・センター全体で年2回の避難訓練を実施している。曜日ごとに週1回登所するクラスもあるため、訓練実施曜日が重ならないよう計画している。 ・単独通所のクラスは月1回、親子通所のクラスは不定期だが独自で避難訓練を行っている。また、避難経路を掲示している。 ・利用形態に合わせ、様々な災害を想定した避難訓練をさらに実施していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> はい(98)/どちらとも(4)/いいえ(3)/わからない(16)/無回答(2) ・今後あるのかなとおもっている。 ・親子通所で何度か一緒に訓練したことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、実施していく。 ・新規利用児が月毎に増えるクラスもあるため、通所形態に合わせて避難訓練の内容や実施頻度を検討する。また、避難器具を使用している訓練なども行っていく。
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・市主催の虐待防止研修会に参加している。 ・全職員対象に人権研修を行っている。 ・専門的な研修会があれば参加している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き実施し、研修会への積極的な参加を促していく。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	<ul style="list-style-type: none"> ・別紙で書類を作成し、保護者説明を行い、同意を得ている。 ・行動を制限した場合は記録に残し、対応や改善方法など職員間で検討している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、実施していく。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時にアレルギーの有無を確認し、給食開始の際は、看護師や職員より聞き取りを行い、主治医からの情報や診断書を基に対応している。 ・献立作成時の食材の確認、除去食を先に調理し食材の混入を防ぐ、検食での確認などを行っている。 ・アレルギー児のトレーや名札を用意し、提供前の声出し確認をしている。エプロンや衣服についた食べこぼしを落とし、足裏を拭いてから退室するようにしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、一人一人への対応を行い、職員間での情報共有も行っていく。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・センター内リスク会議を月1回実施。また、市内公立保育施設のリスク会議に出席し、リスクの報告、検証を行い共有している。 ・ヒヤリハット、アクシデントが発生した場合は、検証を行い、報告書の記入、報告を通して職員間での情報共有を行っている。 ・前月や前年度同月の事例を参考に、次月に予測できるリスクを職員会議で確認し、職員一人一人が意識して未然に防げるよう努めている。 ・センター内やセンター周辺の危険箇所を掲示し、保護者と共有できるようにしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、安心安全に利用していただけるよう、環境の見直しを行い、保護者・職員間で情報の共有に努める。